



平成 27 年度活動組織向けアンケート調査の結果について

本年度、多面的機能支払交付金に係る活動組織向けアンケートを実施させて頂きました。提出して頂いた509活動組織の集計が終わりましたので、報告させて頂きます。なお、ご協力頂きました活動組織の皆様には、お忙しいなか、有難うございました。



I. 構成員（役員）に関すること

1. 代表者の年齢を教えてください。

	H27 調査	H25 調査
回 答	組織数 (%)	組織数 (%)
①20代		
②30代	1 (0)	
③40代	9 (2)	5 (2)
④50代	93 (18)	58 (20)
⑤60代	304 (60)	174 (60)
⑥70代以上	100 (20)	53 (18)

代表者の年齢分布は、2年前と比べてもあまり変化がないようです。

また、60代の代表が6割を占めています。これは、定年退職した人が、村（集落）のために尽力されていることがはっきりわかる結果となっています。

2. 役員で一番若い方の年齢を教えてください。

	H27 調査	H25 調査
回 答	組織数 (%)	組織数 (%)
① 20代	4 (1)	7 (2)
② 30代	36 (7)	26 (9)
③ 40代	137 (27)	96 (33)
④ 50代	253 (50)	123 (42)
⑤ 60代	76 (15)	36 (12)
⑥ 70代以上	1 (0)	2 (1)

役員世代交代は、活動組織において、活動する上で重要なことになっていますが、現実的には上手くいっていないことが垣間見えます。

50代以上が6割以上を占めており、村（集落）では、50代でも「若手」と呼ばれていることがうかがえます。

3. 今の役員以外で、役員のなり手は？

	H27 調査	H25 調査
回 答	組織数 (%)	組織数 (%)
① いる	321 (64)	201 (69)
② いない	181 (36)	89 (31)

2年前に比べて、役員のなり手が減っていることがわかります。

村（集落）自体で高齢化していることも要因ではないでしょうか。

4. 役員を育成するために一番必要なことは？

回 答	組織数
① 地区・村行事への参加	311
② 研修会への参加	158
③ 講演会・シンポジウムへの参加	36

数字が顕著な結果を示しています。まずは、「村行事へ参加」が第一歩ではないでしょうか。

Ⅱ. 資源向上（共同活動）に関すること

1. 現在取組んでいる活動（複数回答有り）

テーマ	取組	組織数
景観形成・生活環境保全	景観形成のための施設への植栽等	161
景観形成・生活環境保全	施設等の定期的な巡回点検・清掃	112
景観形成・生活環境保全	農用地等を活用した景観形成活動	63
生態系保全	生物の生息状況の把握	57
景観形成・生活環境保全	農業用水の地域用水としての利用・管理	37
生態系保全	外来種の駆除	26
水質保全	非かんがい期における通水	19

※ 上位、7位までの活動について掲載しました。

2. 現在取組んでいる活動以外に取組みたい活動（複数回答有り）

テーマ	取組	組織数
景観形成・生活環境保全	農用地等を活用した景観形成活動	51
景観形成・生活環境保全	施設等の定期的な巡回点検・清掃	45
生態系保全	外来種の駆除	44
景観形成・生活環境保全	農業用水の地域用水としての利用・管理	40
水質保全	水田からの排水（濁水）管理	40
水質保全	水質保全を考慮した施設の適正管理	35
生態系保全	生物の生息状況の把握	34
水質保全	排水路沿いの林地帯等の適正管理	34

※ 上位、7位までの活動について掲載しました。

上記のとおり、既に取り組んでいる活動では、**景観形成・生活環境保全活動が上位を占めています。**中でも、「施設への植栽」「施設の巡回点検・清掃」はダントツであり、全活動の約50%を占めています。

全体的には、地域として取り組みやすい活動、住民が参加しやすい活動に取り組まれているようです。少数派としては、生態系保全の「生物の生活史を考慮した適正管理」、水質保全の「水質モニタリング」「土壌流出防止のためのグリーンベルトの適正管理」、景観形成・生活環境保全の「農地からの風塵の防止活動」及び資源循環の「地域資源の循環・資源循環のための活動」に取り組まれている組織もあり、それぞれが地域の実情に合わせた活動に取り組まれています。

次に、取り組んでみたい活動では、全体的には、既に取り組んでいる活動と同じような活動が上位を占めていますが、各組織の役員さんが、いろいろな活動に関心を持たれており、より取り組みやすい活動やマンネリ化の防止を模索されているようです。

Ⅲ. 全組織に関すること

1. 多面的機能支払交付金がなくなったら、現在取組んでいる活動はどうなると思われますか。

	H27 調査	H25 調査
回 答	組織数 (%)	組織数 (%)
① 現状のまま、問題なく継続できる	49 (10)	8 (3)
② 活動内容を減らして、継続できる	290 (59)	163 (62)
③ 全く活動できなくなる	150 (31)	92 (35)

その他(16組織)

- 一部の活動は自治会活動として継続。
- 資金の伴わない活動は継続できるが、その他は活動できない。
- 土地改良区で継続する。

交付金がなくなれば、3割の活動組織が「活動組織が全く活動できない」と回答しています。この交付金が、如何に大切かを示しています。

2. 貴組織は、後何年活動できますか。

回 答	組織数 (%)
① 10年以上は継続できる	170 (34)
② 5年以上10年未満	253 (50)
③ 5年以内に活動を終了	80 (16)

10年以上継続できる活動組織は、3割となっています。
活動組織が継続できる体制を早急に整えていく必要があります。

3. 貴組織の問題点として何がありますか。(複数回答有り)

回 答	組織数 (%)
① 今のところ問題なし	67 (9)
② 構成員の高齢化に伴い、農用地・農業用施設の維持管理が難しくなっている	359 (47)
③ 事務が煩雑で、事務員の確保が難しい(交代できない)	262 (34)
④ 農村環境保全活動等について、マンネリ化してきた	75 (10)

その他(7組織)

- 農業施設が古く、維持管理が難しくなっている。
- 農業が忙しく、世話するところまで活動できない。
- 協力者が少ない。

4. 地域及び隣接集落で広域化が計画された場合

回 答	組織数 (%)
① 計画期間中途でも参加する	115 (24)
② 計画期間終了後に参加する	102 (21)
③ 参加しない(単独で継続)	220 (45)
④ 参加しない(事業を辞める)	48 (10)

広域化について、興味を持っている活動組織が4割ある一方、1割の活動組織が事業を辞めると回答しています。

5. 集落営農組織（組合・法人）について

回 答	組織数 (%)
① すでに結成している	108 (22)
② 結成の方向で進めている	11 (2)
③ 結成へ向けて前向きに検討中である	96 (20)
④ 結成する予定はない	277(56)

集落営農組織の結成は、今後、農地を保全していくために必要な方策のひとつではありますが、前向きな活動組織は5割に留まっています。

【総 括】

まとめとして、「交付金が無くなったら」の問に対する回答は、2年前に実施したアンケートの回答とほぼ同じで、3割が「全く活動できなくなる」でした。前回との比較はないものの、役員の高齢化・後継者不足が伺えます。

また、問2でも10年以下の活動期間が多数を占めるなど、改めて若い担い手の発掘の必要性を痛感します。

一方、「10年以上は活動できますよ」と言っていた組織が3割強あり、問3で「問題なし」と回答いただいた組織も1割強あるなど、心強さも感じられる結果となっています。

次に、広域化については、参加する・参加しないが半々で、各活動組織への聞き取り時でも、隣接集落との協調が取れない・過去の諍いが今も残っている・広域となった場合の活動の仕方がわからないとかの意見があり、広域化の難しさ、広域化に関するPRの必要性を感じる結果となりました。

ただ、広域化に参加しないと言われる組織も、その多くは単独で継続するとされていることから、事業への理解は深まってきていると思われます。

また、「期間途中でも広域化に参加する」と前向きな回答いただいた組織も多くありましたので、**今後は活動組織の不安を解決しながら、広域化を進めて参りたいと考えています。**

最後に、集落営農についてですが、既に立ち上げておられる組織が2割程度ある一方、「予定なし」と回答された組織が半分強あるなど、各集落にとって集落営農組織を立ち上げることの難しさを表しています。逆に考えれば、まだ多くの集落が危機に直面されていないとも考えられますので、もう少し集落内で話し合う時間が必要と思われます。

本事業の農地維持活動では、毎年「地域資源の適切な保全管理のための推進活動」を実施することとなっています。各組織におかれましては、この推進活動を活用して、集落における今後の農業のあり方についての話し合いをされては如何でしょうか。

多面的機能支払に関するご相談・お問合せは、市町村担当者又は、協議会支援員（下記水土里ネットとっとり）へお願いします。

	協議会支援員 配置先	電話番号
東 部	水土里ネットとっとり技術指導室	0857-38-9500
中 部	水土里ネットとっとり倉吉事務所	0858-47-0055
西 部	水土里ネットとっとり米子事務所	0859-32-9710